



6月19日、町民センター3階講堂において「第12回真鶴町学校建設準備委員会」を開催しました。

この会では、これまで、新しい学校が「みんなの学校」として愛される施設となるよう、行政だけでなく、多様な立場・目線から「基本構想・基本計画」の策定に向けて、検討を重ねてきました。

今年度は、設計者も交えてこれまでに課題として挙げられた内容の検討と、「基本設計」の策定に向けて、新しい学校の構造や配置、機能や利活用を同時に協議し、子どもにとっても町民にとってもかけがえのない学校を実現していきます。

ここでは、第12回学校建設準備委員会の協議内容等について報告します。

今後の流れ

新しい学校を共に創り上げる設計者が決まりました！

新しい学校の基本設計業務を委託するにあたり、価格だけでなく、実績や技術力、柔軟で高度な発想力や設計能力、豊富な経験をもつ設計者を選定するため、公募型企画提案方式により設計事業者の選定を行いました。

一次審査(書類選考)を通過した12者について、二次審査(事業者による技術提案書に基づく提案発表および聞き取り)を実施しました。建築分野の学識経験者や副町長、学校関係、学校建設準備委員会代表、関係課参事など7名で構成される選定委員会による審査により、新しい学校の基本設計を行う設計者として、「株式会社東畑建築事務所 横浜支所」を選定しました。

基本設計 (今年度)

建物の構造や配置、機能や設備、建物内外のデザイン等をまとめます。

具体的な完成時の姿が明確になります！

実施設計 (2026年度)

安全安心な工事施工を考慮した上で、機能性、デザイン性および技術面等、他方面にわたって詳細な設計を進めます。

建設工事(2027年度～)

完 成(2029年度末)



委員会の
議事録と
資料(一部)



選定結果や
設計者の提案
(概要書)

今後の設計に向けて協議しました！

1. 校舎の配置について

- 「L字型配置」を主軸に、「東側配置」「北側配置」の利点・欠点を比較し、校舎配置を検討する。
- 躯体構造および教室配置等について検討する。
- 懸案となっている幼稚園の併設、公民館の一部機能移転や学校図書館の地域開放の可能性について比較資料を基に検討する。



2. 防犯対策について

- 「地域に開かれた学校」にする上での防犯対策や、学校と地域の方々の動線を検討する。

3. 歩車分離、駐車スペースについて

- 今後、校外での活動も増えることから、スクールバスを含めた駐車場の確保を検討する。
- 子どもの送迎時などの安全(歩車分離)の確保を検討する。

第13回 準備委員会のお知らせ

日 時：2025年8月15日(金)13:40～

会 場：町民センター3階 講堂

テーマ：「新校舎の配置等について」※設計者と共に協議します

大 傍
歓 聴
迎 も
!

今年度の準備委員の皆さんです。
よろしくお願いします！(敬省略)

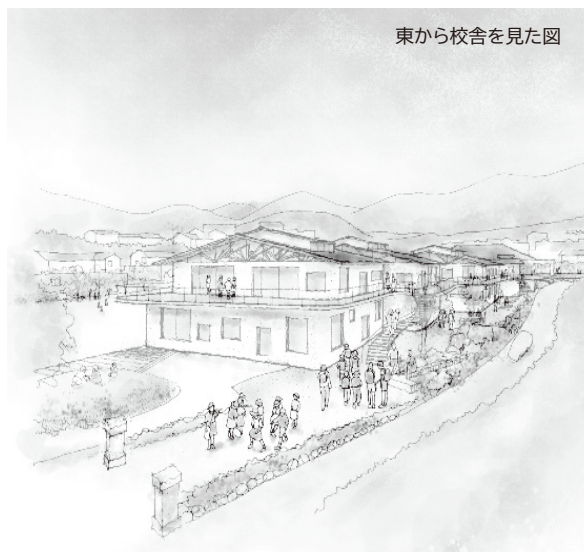
- 小林 宏己(学識経験者:学校教育)
- ◇竹原 和泉(学識経験者:社会教育)
- ◇藤井 明香(公募)
- ◇玉田 麻里(公募)
- ◇山口 稚奈(保護者:元幼稚園PTA)
- ◇露 英一(保護者:小中学校PTA)
- ◇朝倉 隆 (関係団体:自治会連合会・人権擁護委員会)
- ◇古川 昌子(関係団体:民生児童委員協議会)
- ◇伊藤 晴美(関係団体:まなづる小学校運営協議会)
- ◇倉澤 良一(校長会:ひなづる幼稚園)
- ◇新川 典近(校長会:まなづる小学校)
- ◇北村 しのぶ(校長会:真鶴中学校)
- ◇瀧本 朝光(教育委員)
- ◎大塚 伸二(副町長) ◎=委員長
- ◇瀬藤 仁志(教育長) ○=副委員長

委員長には新たに大塚伸二委員が、副委員長には昨年度に引き続き小林宏己委員が選出されました。また、今年度から、異動に伴い新川典近委員と北村しのぶ委員に、新たに加わっていただきました。よろしくお願いいたします。

新しい小中一貫校の設計提案をご紹介します

注：提案書は設計者選定の参考資料であり、提案書の内容をそのまま実現するものではありません

東から校舎を見た図



基本設計とは

～新しい学校の「骨組み」を形づくる大切な工程～

「どんな学びの場にしたいか」

「地域とのつながりをどう育てるか」

「子どもたちが安心して過ごせる工夫は何か」など、

学校に込める思いを、建物の“かたち”にしていきます。

教室や学校図書館の位置、
光の入り方、風の通り道、防災機能、
地域の方との交流スペースなども、
この段階で大まかな“かたち”が
決まっていきます。

基本設計は「学校の未来の姿」を
描く設計図なのです。

新しい学校が、子どもたち
にとっても、地域のみなさん
にとっても、誇れる場所
になるように…。
そんな願いをもって基本設
計をつくってまいります。

設計を進めるうえで
大切にしたい

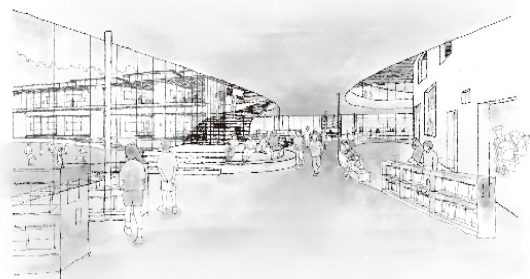
4つの価値観

子どもの教育活動を支える
義務教育学校を
しっかりつくる

地域と学校が共にあることを
最大限生かしてつくる

活動を教育から一緒に考え
利用者と協働して
学校をつくる

学校も含めたまち全体で
皆で子どもたちを育てる



1階昇降口から学校図書館をみた図

真鶴ならではの
「学び合い・育ち合いの場」を
実現するための

8つの提案

義務教育学校
4-3-2制を
生かした学校づくり

地域が共にあり
身近にいることを
最大限生かした
開かれた施設づくり

誰もが当事者意識を
醸成できる利用者
協働型プロセスの
施設づくり

地球に優しい
持続可能な
環境学習型
エコスクール

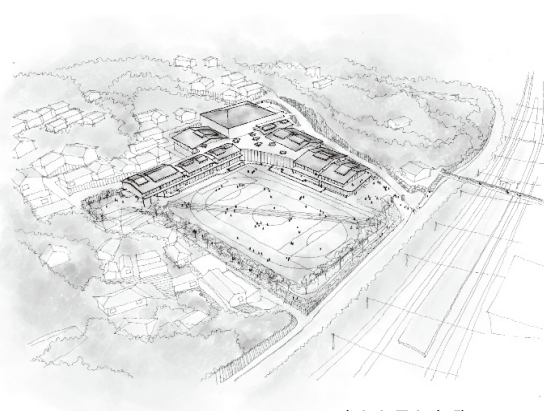


利用者の
過ごしやすさと
働きやすさに配慮した
最先端の環境づくり

様々な心身状態に
配慮した
インクルーシブな
環境づくり

日常はもちろん、
非常時も
安心・安全な
施設づくり

美の基準を生かした
真鶴ならではの
風景を牽引する
学び舎づくり



南から見た鳥瞰図



町ホームページで
設計者の提案(概要書)を
ご覧いただけます。